

バヌアツ青少年赤十字海外支援事業

支援対象国・地域	バヌアツ
事業背景	<p>バヌアツは世界の中でも災害に対して脆弱な国です。太平洋の「サイクロンベルト」にあるバヌアツは、他の太平洋の島々と比べても火山噴火、サイクロン、地震、津波、洪水や地滑りの災害を多く経験しています。もっとも最近では、2015年3月に発生したサイクロンパムが人口の70%の人々に被害をもたらしました。</p> <p>バヌアツの学校は、災害に対する準備が不十分で、特に、地震や津波のような突発的な災害に対して脆弱であります。現時点ではバヌアツ教育省は、カリキュラムの中に学校における防災教育を現在組み込んではおりませんが、カリキュラムの中に防災教育を組み込むことで子どもたちが災害時に自分で自分の命を守る必要性が非常に高まっています。</p>
事業期間	平成29年4月1日～平成32年3月31日
場所・対象	本社と支部があるトルバ(Torba)、サンマ(Sanma)、ペナマ(Penama)、マラムパ(Malampa)、シェファ(Shefa)、タフェア(Tafea)の地域において事業を実施し、それぞれ3校、計18校の小学校がターゲット校。
	
目的（上位目標）	学校における災害リスク軽減・学校安全

事業目標	<p>学校における防災減災に対する意識づけにより、災害に対する地域における脆弱性を軽減することを目的に、以下の目標を設定した。</p> <p>目標 1：学校において災害リスク軽減と防災の正しい知識を教えられる環境を作る</p> <p>目標 2：ターゲットとなる小学校の先生と生徒の災害リスク軽減の知識を増やす</p> <p>目標 3：バヌアツ赤十字社のボランティアのネットワークを強化し、災害時に対応できるようにする</p>
活動内容	<p>目標 1：学校において災害リスク軽減と防災の正しい知識を教えられる環境を作る</p> <p>1－1：防災教育分野においてバヌアツ政府との公式なパートナーシップを結ぶ</p> <p>1－2：防災減災のツールを小学校のカリキュラムに組み込む</p> <p>1－3：基本的な教師トレーニングのパッケージに防災減災を組み込む</p> <p>1－4：バヌアツ赤十字社による防災減災のトレーニングの実施</p> <p>目標 2：ターゲットとなる小学校の先生と生徒の災害リスク軽減の知識を増やす</p> <p>2－1：ベースライン、中間、最終調査を実施する（防災に関する知識を測る）</p> <p>2－2：支部職員とユースボランティアの研修の実施</p> <p>2－3：災害リスク軽減教育普及に係る必要資材を支部に常備する</p> <p>2－4：対象校の先生、生徒が基礎的な救急法を受講する</p> <p>2－5：3か月に1回、全ての対象校で防災教育を実施する</p> <p>2－6：「防災の日」を策定し、イベントを実施する</p> <p>2－7：防災や災害リスク軽減に関しての知識を普及するためのポスターを作る</p> <p>目標 3：バヌアツ赤十字社のボランティアのネットワークを強化し、災害時に対応できるようにする</p> <p>3－1：すべての支部において、ユースボランティア防災減災チームを構築する</p> <p>3－2：ユースボランティア防災減災チームが基本原則や基礎的な救急法の知識を得る</p>

写真



サイクロン・パムの被害を受けた地域では赤十字により学校の再建も進んでいる。©IFRC